

「日本ゴルフツーリズムコンベンション」初開催

三重県では海外ゲストを呼び込むコンテンツに“ゴルフ観光”を押し出しています。『みえゴルフツーリズム』を標榜する中、日本で初めての開催となる「日本ゴルフツーリズムコンベンション」(9月28日～10月6日)が三重県を会場に開催されました。主催はゴルフツーリズム業界で最も権威ある団体IAGTO(International Association of Golf Tour Operators)。今回のコンベンションは「日本を目的地とする」ゴルフ旅行の商談会で、各地の自治体、ゴルフ場、旅行会社がセラーとして出展、世界各地からバイヤーを招いています。三重県の担当部では、各種セミナー、県内視察、交流会などの運営にあたりました。商談会では総勢103団体、205人が参加し、大きな盛り上がりの中で幕を閉じています。

三重県の“ゴルフ観光”に関する取り組みは、平成27年度からスタート。この年に、初めて海外のゴルフツーリズム商談会への参加を開始しました。また同時期に、ヨーロッパのゴルフツアーオペレーター、ゴルフ関係メディアを県内ゴルフ場、関連施設、観光地などに視察のため招待し、現地でのアピールをスタートさせています。さらにゴルフツアー誘致に成功しているタイとの連携を重要な柱に位置づけ、鈴木英敬三重県知事がタイのパタヤにあるゴルフ場団体EGA(The East Coast Golf Courses Management Association)を訪問、関係強化を図ります。翌年には「三重×タイの地域間連携の促進に係る覚書」の調印も行われました。

その後も、世界のゴルフ商談会やイベント出展や視察、海外各地のゴルフツアーオペレーターを視察招待する取り組みを継続。昨年から本年にかけてはタイからゴルフツアーで200名以上が来県するなど、これらの取り組みが実を結びはじめています。

今後、2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピックなど国際的なスポーツイベントの開催で日本が注目される機会が増えていきます。日本旅行の目的にゴルフ(スポーツ)を組み入れる三重県の取り組みは、各方面から注目されていくことでしょう。

中日新聞社 広告広告局広告三部 三重アドセンター所長 中村広樹



ゴルフで親交も深まりました



商談会の様子